

支えあい、助けあい、分かちあい



手話講座



傾聴ボランティア講座

会長あつひ

社会福祉法人 岩美町社会福祉協議会

会長 田中 衛



今年六月より本協議会の会長をお受けし、責務の重さに身の引き締まる思いで務めさせていただいております。

昨今の新型コロナウイルス感染症の流行により、現在、社会福祉協議会の様々な事業も中止、延期を余儀なくされているところですが、地域福祉の推進を図ることを目的とする本協議会は、多様化する地域の福祉ニーズに応じて福祉を推進するため、福祉活動についての方向性を示す計画である「地域福祉活動計画」の基本理念に基づき、住民や民間組織・団体、行政等と連携を図り、住民一人ひとりの参加による「福祉のまちづくり」を目指して各種事業を推進しています。

こうした中、令和3年度においては、その活動計画の内容が時代に即しているか、また当事者の生活に密着しているかの評価・点検を行うことにより進捗状況の管理を行い、一人ひとりに対する支援を大切に考え、共に支え、助け合う地域福祉活動の推進に向けて見直しを図ってまいります。

一方、指定管理者制度や介護保険事業者としての経営理念も求められ、円滑な運営を行うよう、体制の整備や財源確保の適正化を図り、運営基盤の強化・経営の安定に努めていくことが重要な課題となっています。

新型コロナウイルス感染症の拡大により社会的にも、また本協議会の様々な事業実施においても大きな影響があり、この状況はこれからもしばらく続くものと思われまます。

このようなときだからこそ、住民に「見える社協」として社協のあるべき姿を求めながら、関係機関団体等及び行政と力を合わせ連携して「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指し、福祉の推進力としての役割を果たしていく所存であります。

終わりに、本協議会の業務は地域の皆様のご理解とご協力があつてこそ成り立っており、是非、今後とも皆様のあたたかいご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。甚だ簡単ではございますが、「挨拶」といたします。

●令和2年度事業報告・決算報告	2～4P
●理事、評議員の紹介	4P
●赤い羽根共同募金へのご協力をお願い・ 生理用品の配布及び物品の寄付について	5P
●令和3年度岩美町ふれあい福祉大会	6P
●支え愛ネットワーク構築事業のご案内	7P

●生活サポーター養成講座のお知らせ	8P
●救急キット配布事業のお知らせ	9P
●たんぽぽ通信	10P
●ボランティアのお礼・ボランティア情報	11P
●あんしんコール事業のご案内・ご寄付のお礼	12P



事業報告（概要）

① 社会福祉協議会の組織基盤の強化と 広報活動の推進

本協議会の運営については、関係機関及び福祉団体との連携を深めながら、地域福祉推進の研修に参加し、今後の社協の役割・使命の認識を更に深めるとともに、住民意識の啓発に努めました。会議は、理事会3回、評議員会3回、監査会1回開催しました。また、広報活動の推進として「社協だより」を4回（第92号、第95号）発行しました。

② 第3次岩美町地域福祉活動計画の推進

各地区自治会長、町内会長、区長の皆様への「第3次岩美町地域福祉活動計画」のダイジェスト版の配布にあわせ、社協ホームページを通して活動計画の普及啓発の推進に努めました。

③ 生活困窮者自立支援制度の推進と 各種相談・貸付事業の実施

生活困窮者自立相談支援事業を、令和2年度においても町から受託し、社会的孤立にある人、生活困窮にある人、制度のはざまにある人などに対して広く相談を行い、その者が抱える多様な複合的な課題を包括的に受け止め支援計画を策定し、福祉事務所等の関係機関と連携を図りながら自立に向けた包括的・継続的な支援を行いました。

また、日常生活自立支援事業を令和2年度においても県社協から受託し、認知症や知的障がい・精神障がいなどにより判断に不安がある人の福祉サービスを利用するための手続きや、日常的な金銭管理等の援助を行いました。

そして、関係機関や各種団体との連携のもと、普段の暮らしを支え合う仕組みづくりの構築を図ることを目的に、住民のあらゆる生活・福祉問題を受け止め、迅速かつ着実に問題解決につなげるために法律相談・一般相談を開設しました。

更に、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、減収や休業、失業等により生活資金でお困りの世帯に対し、緊急かつ一時的な生計維持のための特例貸付に関する相談対応を行い、貸付に繋がりました。

④ ボランティアセンターの機能強化と 生活支援サービスの開発

住民が相互に支え合える仕組みづくりの基盤整備を図りながら総合的な地域福祉の促進を行うために、ボランティアセンターを拠点にボランティア活動の推進強化に努めました。

中でも、平成22年度から取り組んでいる、高齢者ファミリーサポート・システム（生活援助型）事業として、ボランティアセンターが中核となり、高齢者や障がいのある方等が、自宅で充実した生活を送ることができるよう、必要な調整や働きかけを行い、地域住民の自発的な参加と協力を得ながらボランティア活動（有償）の推進を行いました。

そして、生活支援体制整備事業を、令和2年度においても町から受託し、高齢者等の個別の生活ニーズに応えるよう、ボランティアセンターと連携を図る中で、生活支援サービス協議体において、関係機関と協働し地域住民の主体性に基づく高齢者等の生活を安定的かつ継続的に地域で支える住民参加型の新たなサービス等の検討を行うとともに、地域における担い手を養成するための生活サポート・養成講座の開催にあわせ、シニアボランティア入門講座、ボランティア体験教室を開催することで、福祉の心を育てる教育の振興に努め、更なるボランティア活動への理解や動機づけを行いました。

また、平成30年6月に子どもから高齢者まで誰でも気軽に立ち寄り、楽しみながら介護予防や健康づくりなどに取り組む拠点の参考となるよう開設した、共生型交流サロン「井戸端カフェらっと」を令和2年度においても引き続き開設し、各地区にその取り組みの輪が広がるよう努めました。加えて、令和元年度からの新たな取り組みとして、平成29年4月より運用開始している「楽集（がくしゅう）ネットワーク」（「鳥取県×日本財団プロジェクト」助成金を活用）を、現在の3会場（社協、岩美病院、あじろカフェなど）から、それぞれの地区に拡充するため、希望した地区に対し無償で必要な機材の貸し出しを行いました。

⑤ 地域福祉ネットワークづくりと福祉関係団体との連携

令和2年度も、ひとり暮らしの高齢者等を地域の中で見守り支え合っていく愛の輪運動に引き続き取り組むとともに、定期的に電話をお掛けし、安否確認や孤独感の解消等を図る「あんしんコール活動」や、自宅で救急を要する事態に備え、病気や怪我で本人に意識がなくても必要な情報をその場で確認でき、医療機関等への引継ぎに役立てることのできる「救急キット配布事業」を町民生児童委員協議会と連携を図り実施しました。

また、支え愛ネットワーク構築事業の一環としての支え愛マップの作成

令和2年度

支援にあわせ、岩美町要配慮者支援制度を本協議会として連携し推進を図っていく中において、平成27年7月に創設した、見守りネットワーク活動支援事業の推進を行い、要配慮者等に対する災害時の避難支援の仕組みづくりや平常時の見守り・支え合いの体制づくり等の活動に対し、自治会等に助成を行い、地域の要配慮者が身近な地域で安心安全に暮らすための取り組みを推進しました。

なお、毎年町内9地区において実施している地区別福祉座談会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ご参集いただく形での開催は中止し、当日説明予定の資料を、各地区自治会長、町内会長、区長の皆様にお配りすることで、地域福祉の重要性や、社協事業の取り組み内容について、更なるご理解を深めていただくことを推進しました。

⑥ 高齢者の自立健康生きがいづくりと介護予防事業の推進

地域福祉ネットワークづくりを大切にしたふれあい食事サービスとして、多くのボランティアの思いやりの心や、ふれあいの心をもとに、それぞれの地区（9地区）において、月2回の取り組みを行いました。

また、役場健康長寿課との連携を密に取り、本協議会を活動拠点として取り組んでいる「あつたかハートサロン事業」を実施するとともに、住民主体による小地域福祉活動である「ふれあい・いきいきサロン活動」を町内で合計30ヶ所で展開することができ、閉じこもり防止や高齢者の生きがいづくり等の支援に努めました。

そして、令和2年度の岩美町ふれあい福祉大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小し、金婚をお迎えになるご夫妻と、社会福祉関係の表彰受賞者による「金婚のお祝い・表彰状贈呈式」として10月6日に岩美町中央公民館で開催しました。

⑦ 赤い羽根共同募金

町民の皆様、各地区自治会長、町内会長、区長、町内小・中・高校、町内各事業所様の温かいご協力により、10月1日～12月31日の期間、募金運動を推進することができました。

この募金は、いったん全額を鳥取県共同募金会へ納め令和3年度一、九二、〇九九円が岩美町社協へ配分される予定です。

募金総額 二、七四四、〇九九円（目標額 二、九〇〇、〇〇〇円）
（達成率 94・62%）

⑧ 歳末たすけあい募金

町民の皆様、各地区自治会長、町内会長、区長、並びに地区婦人会の皆様の温かいご協力により、12月1日～12月31日の期間、募金運動を推進することができました。

この募金をもとに、町民生児童委員協議会と綿密な連携を図り、各地区の民生児童委員さんを通して激励品を、該当の方々へお届けさせていただきました。

募金総額 六五五、四〇〇円（目標額 七〇〇、〇〇〇円）
（達成率 93・63%）

⑨ 福祉関係団体との連絡協調と活動助成

福祉関係団体との連絡協調に留意し、各福祉団体へ活動費の一部を助成しました。（町身体障害者福祉協会、町連合母子会等 8団体）

⑩ 老人福祉センターの利用状況

利用者総数 五、六〇九人

⑪ 介護保険事業の推進

居宅介護支援事業、介護予防・日常生活支援総合事業の実施と、訪問介護サービスと認知症対応型通所介護サービスの提供を行いました。

居宅介護支援サービス 二、一八四件
訪問介護サービス 七十八件
介護予防・日常生活支援総合事業訪問介護サービス 三三七件
認知症対応型通所介護サービス 二二七件

⑫ 障害福祉サービス（居宅介護サービス）の推進

居宅介護サービス（ホームヘルプサービス）の提供を行いました。
延利用人数 一六五件

⑬ 介護予防拠点施設「たきさん温泉」の利用状況

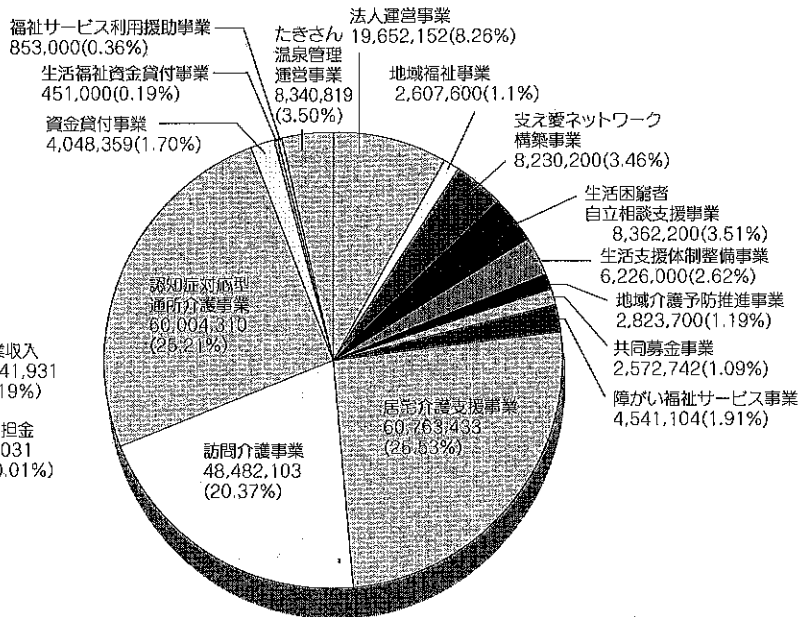
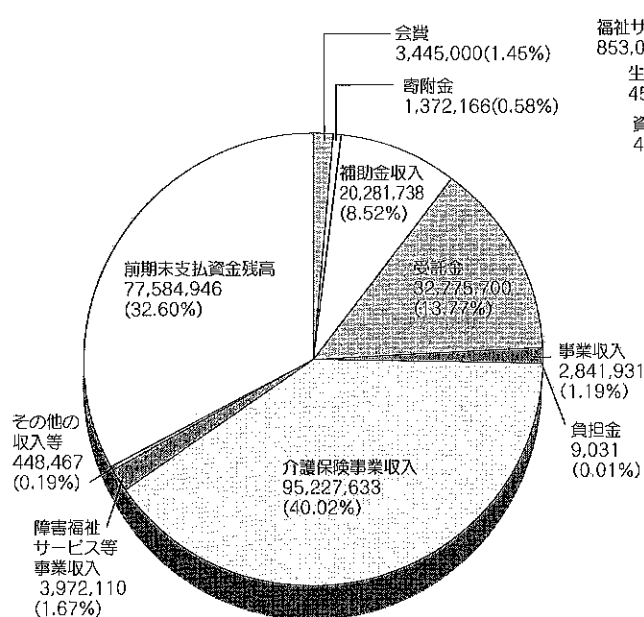
来館者総数 一四、七五三人

令和2年度 決算報告(概要)

【単位：円】

収入 237,958,722円

支出 237,958,722円



岩美町社会福祉協議会 理事・評議員紹介

6月より新たに理事・評議員が選任されましたので、それぞれの方々のご紹介をさせていただきます。

任期／令和5年6月開催予定の定時評議員会まで

任期／令和7年6月開催予定の定時評議員会まで

【会長・理事】

田中 衛

【副会長・理事】

北尾 安範

【理事】

中島 睦郎・澤井 利彦

山本 達雄・清水 博

升田 弘法・上田 邦夫

吉村 光文・田中 篤夫

山本 淳・山田 恭子

杉本 征訓・居組 栄治

横田 光男・坂本 資明

【監事】

下根 鈴江・中島 美明

【評議員】

岡島 明・田中 博樹

奥山 昌一・鈴木 栄治

松岡 廣美・山田 秀行

濱部 康子・鍵井 修己

木村 正弘・岸本 彰

土橋 利幸・寺垣 裕

日下部菜穂子・上田 繁人

前田 一朗・田川 悦子

田中 明博・岡田美恵子

川口 耕司・坂口 雅人

田中 哲也・三浦 敏彦

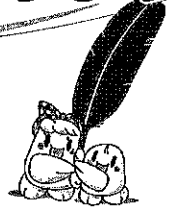
大塩 晋



10月1日から赤い羽根共同募金が始まります

今年も全国一斉に共同募金運動が実施されます。

今日の社会変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域の課題解決に取り組む民間団体等を応援する「じぶんの町を良くするしくみ。」として、大きな役割を果たしています。



戸別募金	自治会を通じて町内各世帯に募金のご協力をお願いします。
法人募金	町内企業等へ募金のご協力をお願いします。
職域・学校募金	学生や職場等に勤める方へ募金のご協力をいただきます。
街頭募金	『赤い羽根募金』の広報活動と募金のご協力をお願いします。

今年も町民のみなさまのあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

★共同募金に赤い羽根が使用されるようになった由来について★

赤い羽根を共同募金としてつかうのは、赤い羽根が『たすけあい』『おもいやり』『しあわせ』のシンボルとされており、ヨーロッパなど世界的に、『勇氣』や『良い行い』の象徴とされていたことが由来です。

特に中世イギリスの英雄として象徴されるロビンフッドが赤い羽根をつけて、勇敢に冒険している姿が描かれていたことから、赤い羽根が勇氣や希望の表れとして、世界的に広がったと考えられています。

ちなみに日本での赤い羽根共同募金の始まりは、民間の運動として戦後直後の昭和22年（1947年）に、市民が主体の取り組みで始まりました。これはアメリカから来日したフラナガンという神父さんが火付け役で彼が“国民助け合い共同募金”を始めたことがきっかけといわれています。

共同募金に関する
お問い合わせは

岩美町共同募金委員会（岩美町社会福祉協議会内） ☎72-2500

必要な方に生理用品をお配りしています

新型コロナウイルス感染症の影響により経済的な理由で生理用品の購入が困難な方を支援するため、防災備蓄用品や寄贈品を活用し、必要な方にお渡ししています。以下の配布場所で、窓口の職員にお声がけください。なくなり次第、終了となります。

- ・配布物 生理用ナプキン 1人1セット（昼用8個・夜用2個入）
- ・配布場所 岩美すこやかセンター福祉課・岩美町社会福祉協議会の窓口

生活に困窮している方を支援するため、ご家庭や企業からの生理用品などの寄付を受け付けています。皆様からお預かりした寄贈品は、生活困窮世帯等の支援に活用させていただきます。家庭や事業所等で提供可能な物資がありましたら、役場福祉課または岩美町社会福祉協議会までご寄付をお願いいたします。

○寄付を受け付けている物資

- ・衛生用品：生理用品（ナプキン）、石鹸（固形・液体）、シャンプー、マスク（使い捨て）
- ・食品：缶詰、乾麺、レトルト食品、粉ミルク、保存水

○寄付の際に気を付けていただきたいこと

- ・消費期限または賞味期限が6カ月以上あるもの
- ・パック未開封で新品であること

お問い合わせ先

福祉課 地域福祉係 ☎73-1333・岩美町福祉協議会 ☎72-2500

令和3年度 岩美町ふれあい福祉大会のお知らせ

福祉のまちづくりの実現に向けた意義ある大会であるふれあい福祉大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度も規模を縮小して岩美町ふれあい福祉大会実行委員会の主催により開催いたします。大会では、この日のために特別に収録された記念講演DVDを視聴するとともに金婚をお迎えになるご夫妻に慶祝の意を表することと、岩美町の社会福祉の発展に功績のあった社会福祉関係者の長年の功労を顕彰することを通じて、本町のさらなる地域福祉の普及・啓発を図る機会とし、ともに支え合うまちづくりを推進することを目的として開催いたします。

また、今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、会場での開催は中止し、書面開催とする可能性がございますので、予めご承知おきいただきますようお願いいたします。なお、会場開催が中止となった場合は町防災行政無線放送や本会ホームページ等によりご案内いたします。

日 時	9月12日(日) 10:00~12:00
場 所	岩美町中央公民館 いわみんホール
内 容	記念講演・金婚のお祝い・表彰状贈呈式

講演内容

「できる」思いが大切

講師氏名

 陸上視覚障害者マラソン
 近藤 寛子さん


講師プロフィール

・滋賀県栗東市出身／昭和41年生まれ／株式会社滋賀銀行所属

2001年、視野が徐々に狭まる「網膜色素変性症」を発症。

長女の幼稚園入学で外出機会が増えた事をきっかけに、2004年、視覚障害の認定を取得。そんな時、障害者マラソンの存在を知る。

翌年、伴走者の川嶋さんと出会いランニングクラブに所属、本格的にマラソンを始めることとなる。

2013年には、日本ブラインドマラソン協会からリオ・パラリンピックの強化選手に指定され、しがぎんキャッシュサービス株式会社入社後、徹底した練習メニューからタイムは徐々に上昇。

2016年2月に開催された「別府大分毎日マラソン」では、自己ベストとなる3時間18分5秒を記録し、リオ・パラリンピック日本代表に決定。

リオ・パラリンピックでは厳しいコンディションの中、3時間23分12秒のタイムで5位入賞を果たす。

2020年2月 別府大分毎日マラソン視覚障害者の部 3位 (3時間12分8秒)

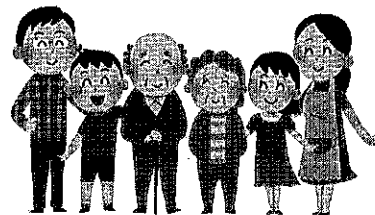
2020年12月 防府読売マラソン女子IPC登録の部 3位 (3時間10分32秒)

住みよく暮らしたい、安心して暮らしたい、そんな町にするために

支え愛ネットワーク構築事業

本協議会では、平常時・災害時における地域の仕組みづくりの推進に向けて各関係機関と連携を図り、さまざまな活動の推進をしています。

今回は、民生児童委員との連携による地域の見守り活動の取り組みや支え愛マップについての取り組みの内容をご紹介します。



町内9地区で行われた民生児童委員定例会に参加しました！

7月6日からの約1ヶ月間、町包括支援センター並びに町社会福祉協議会の職員が、民生児童委員定例会に参加させていただき、それぞれの地域における福祉問題・課題等について情報を共有するとともに、社会福祉協議会が今年度を実施している各種事業の説明や意見交換等を行いました。

日ごろから、地域の身近な相談手を担っていただいている民生児童委員さんとの意見交換は、隣近所や地域の団体とつながりを持ち、支え合い、助け合う地域づくりを進めていくための取り組みや活動を考えていくうえで、大変参考になりました。

意見交換等の内容（一部抜粋）

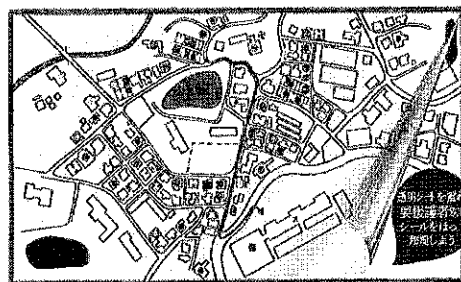
- 先日的大雨時など、要配慮者の避難についてどう対応していくべきか。民生委員として担当地区の高齢者には、何かあれば自分に連絡するようにと伝えたが、もしもの時には、どうしたら良いかと不安な声があった。避難場所の小学校までは遠いし、一人ひとりの状況を把握し、避難させることが難しい。近所の支援者の必要性を感じた。
- 地区内に独居高齢者が多く、民生委員だけでは見守りが大変。コロナ禍でサロン等の集まりも殆どなく、一人ひとりの体調や生活状況の把握が難しいが、愛の輪推進員に協力してもらい、助かっている。

「体験されてみませんか？」～支え愛マップの取り組みについて～

◆支え愛マップとは、災害時に誰かの手助けや声かけを必要とする人、声かけができる人、避難先など、一連の情報を盛り込んだ地図のことです。マップをつくることだけが目的ではなく、地域のことを話し合う中で、『日ごろからのつながり・支え合い』を考えてもらうことを大切にしています。

きっかけは、ささいな事でかまいません。災害時のスムーズな避難行動や助け合いは、日ごろの住民同士のつながりが重要です。

コロナ禍で、集まることがなかなか難しいですが、少人数、小地域内で、今できることを話し合いながら支え愛マップを一緒に作ってみませんか？



■支え愛マップづくりの取り組み、更新等をお考えの場合は、
岩美町社会福祉協議会
総務福祉課 TEL 72-2500 まで、
お気軽にお問い合わせください!!

地域で暮らす高齢者に安心と笑顔を



生活サポーター養成講座

□生活サポーターとは

「生活サポーター」とは、町内の高齢者等の皆さんが普段の暮らしの中で、ちょっと困っていることに対して、地域の中でそのお手伝いをする人たちのことを言います。

たとえば、ゴミ出しや電球交換、買い物の付き添いや部屋の掃除、見守りやお話し相手など、そんな「ちょっとした手助け」をするために必要な知識を習得していただくための養成講座を開催します。

“助け上手” “助けられ上手” な地域を目指して、私たちにできることを一緒に考えましょう。

参加対象	介護予防に関心のある80歳未満の方で、サポーターとして地域での生活や介護予防の支援活動に取り組むことが可能で、各種事業に参加協力いただける方。 ※介護やボランティア活動の経験は問いません。 ※全日程参加の方には、修了証を発行します。
募集人数	定員20名（申込順）※定員になり次第、締切とさせていただきます。
受講料	無 料
会 場	岩美町中央公民館
申込締切	令和3年 9月24日(金) まで
申込方法	社協窓口またはお電話でお申込みください。 (お申し込みの際は、氏名、住所、電話番号をお知らせください。)

回	日 時	内 容	講 師
第1回	10月6日(水) 10:00~11:30	開講式 介護保険制度や岩美町の高齢者の現状について	岩美町役場 健康長寿課職員
第2回	10月中旬 10:00~11:00	年を取るってどんなこと? ～身体の老化や高齢者特有の病気について～	岩美病院 臨床医
第3回	11月初旬 10:00~11:00	認知症ってなんですか? ～基礎知識と対応の仕方～	岩美病院 臨床医
第4回	11月17日(水) 10:00~11:00	介護予防・認知症予防運動講座	Fitness Ja-んぐる インストラクター
第5回	11月24日(水) 10:00~11:30	町内の高齢者支援活動の現状について 修了式	岩美町社会福祉協議会 職員

※諸事情による内容等の変更や新型コロナウイルス感染症の発生状況により中止になる場合があります。

かかっている病気は??

のんでいる薬は??

アレルギーは??

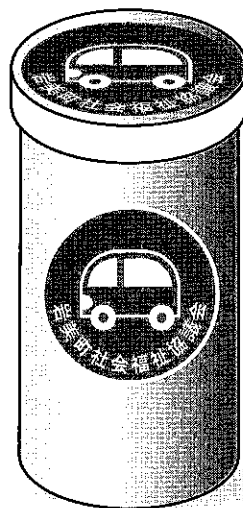
『もしも・・・』の時に、あなたに代わって大切な命の情報を伝えます。

～救急キット配布事業～

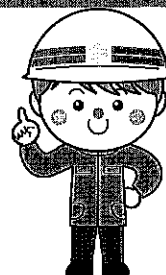
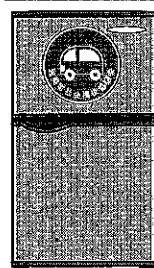
救急キットとは…

70歳以上のひとり暮らし高齢者など、自宅で具合が悪くなり救急車を呼んだとき、かけつけた救急隊員や近所の方に持病やかかりつけの病院などの情報をより早く、確実に知らせるために、自らの情報をケースに入れて冷蔵庫に常備するものです。

※無料でお渡しいたします。

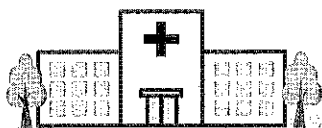


具合が悪くなり119番へ電話

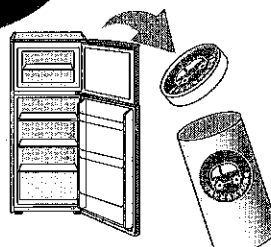


救急隊が自宅へ到着
冷蔵庫のステッカーを発見

救急キット活用のイメージ



適切な処置をして病院へ搬送



ケースの中身を確認し情報を入手する

緊急連絡カードの内容は大丈夫?

- かかりつけ医に変更はありませんか?
- 薬の種類や内容に変更はありませんか?
- 緊急連絡先の方の氏名、電話番号に変更はありませんか?

※緊急連絡カードに記載された情報に変更がある場合は必ず追加(訂正)をお願いします。

お問い合わせ 岩美町社会福祉協議会 TEL 72-2500

たんぽぽ通信

～なごやかで、ゆとりある介護～



長かった梅雨がやっと明けた途端に猛烈な暑さとなり、コロナ対策のマスクや換気もしなくてはならず、今年の夏は例年以上に暑さが身にこたえます。

さて、たんぽぽの家ではご利用者様に季節を感じて頂く為、7月に職員と合同で七夕飾りの作成を行いました。昔からある慣れ親しんだ風習にご利用者様方は童心に返った気持ちで夢中になって取り組まれました。ご利用者様に短冊にお願い事を書いて頂き、「なんて書こうかな…」と悩みながらも、それぞれが健康長寿やコロナ終息などの願いを書かれ、笹に飾られました。

皆様の願い事が叶いますように…☆彡

今回のたんぽぽ通信では、夏野菜栽培の活動の様子や、認知症予防についてご紹介していきたいと思います。



ご利用者様の作った飾りと
願い事の短冊…天まで届け！



「ええピーマンができたわ～」
と収穫中

「色とりどりに…夏野菜を収穫！」

たんぽぽの家では今年、プランターに夏野菜（ピーマン、ミニトマト、なす）の苗を植えました。

「これは何の苗かなあ？」と言われながらも、さすが畑仕事の大先輩。慣れた手つきで苗を植えられました。初めは小さな苗でしたが、「あの苗は、肥料が足らんじゃないか？」など、ご利用者様にアドバイスを頂き、少しずつ実が大きくなる様子を見ながら、水やりにも力を入れ、収穫の日を楽しみにされていました。

7月初旬、青々としたピーマンや赤く色づいたトマトが実り、「どこに出来とるかな？あったわ！」と生長を嬉しそうに収穫されていました。

たんぽぽの家で収穫した野菜は、昼食として調理し、「美味しいで！」と喜ばれ、皆様に食べていただきました。



認知症をみせぐポイント



1.生活習慣病を予防・治療する

生活習慣から引き起こされる病気と関連が強いので、適切な治療を受ける事が大切です。

2.運動する

運動習慣を身に付けきちんと栄養を摂って筋肉作りをする等、体のメンテナンスを行いましょう。

3.達成感を味わう

作品が残る、記録を残すなど、これまでの取り組みが目に見えるような工夫をしましょう。

4.他人と交流する

家族、他人と交流することで脳を刺激し、活発化させる。

5.ご本人が望んで生活に取り入れる

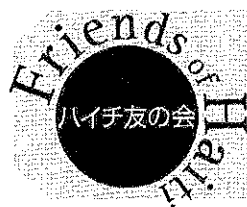
ご本人が好きな趣味や環境を整えるなどし、無理なく生活を続けられることが大切です。

認知症予防は、様々ありますが、特別な事ではなく上記に挙げたような運動習慣や食生活、趣味活動を無理のない範囲で取り入れ、長く続ける事が必要です。次回のたんぽぽ通信では、認知症予防（食生活・体操）についてお知らせしたいと思います。ぜひご覧ください。

たんぽぽの家

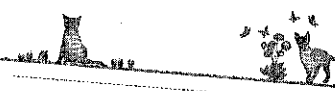
◎利用日：月～土曜日（祭日も利用できますが、年末年始は休業）

◎利用時間：午前9時～午後4時 ◎所在地：岩美町外邑931 ◎電話番号：72-3228

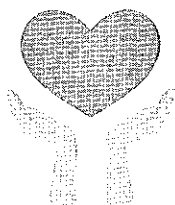


ハイチ友の会より礼状が 届きました

このほど、多くの町民の方々からお寄せいただいた書き損じハガキをハイチ共和国の復興を支援する民間非営利組織のハイチ友の会へ寄付させていただきましたところ、ハイチ友の会より礼状が届きましたのでご紹介させていただきます。



書き損じ葉書のご支援、
本当にありがとうございます。
活動報告でも触れさ
せていただいております。
ご一読頂ければ幸いです。
(礼状、原文まま)



岩美町から書き損じはがきのご寄付

代表小澤が2002年、鳥取県岩美町でハイチ支援講演会をさせていただいたご縁により、町民の皆様から度々書き損じはがきのご寄付をいただいてまいりましたが、この春、新たに1153枚、総額5万円以上のご寄付を賜りました。

(ハイチ友の会2021年度活動報告より抜粋)



収集ボランティア

<順不同・敬称略>

【使用済み切手】

- ◎岩井あすなろ ◎福上工業(株)
- ◎岩美町役場産業建設課
- ◎田後漁業協同組合
- ◎匿名の皆さま

【使用済み切手・書き損じハガキ】

- ◎FDK(株)鳥取工場
- ◎岩美かたつむり工房

ご協力いただいた皆さんありがとうございました。

ボランティアに関する相談・
お問い合わせは…

岩美町ボランティアセンター

TEL(0857)73-5177

までお気軽にどうぞ！お待ちしております。

社協関連施設でボランティア活動を実施していただいた皆さんです。(令和3年2月～令和3年7月)

<順不同・敬称略>

【岩美町社協】

- ◎浦富地区公民館 ◎岩美町連合婦人会

【たんぼぼの家】

- ◎高村 寛

【老人福祉センター】

- ◎岩美町連合婦人会 ◎岩井ゆかむり協力隊

【たきさん温泉】

- ◎小田仙寿会老人クラブ

ボランティア活動にご尽力いただいた皆さん、誠にありがとうございました。

岩美町あんしんコール事業利用のご案内

岩美町社会福祉協議会では、町内にお住まいのひとり暮らし高齢者（70歳以上）又は、高齢者夫婦世帯、昼間独居等の皆様を対象とし、最大週1回を限度に定期的に自宅へ電話をお掛けし、健康状態等を伺う中で、高齢者の皆様が心身ともに健やかで、地域で安心して日常生活を送っていただけるよう、岩美町あんしんコール事業を実施しています。

秘密厳守で
利用料は
無料ですので
お気軽に
ご利用ください



●利用対象者

岩美町内にお住まいのひとり暮らしの高齢者（70歳以上）又は、高齢者夫婦世帯、昼間独居等

●サービス内容

- 最大週1回の利用頻度で定期的にご自宅にお電話をお掛けします。
- 健康状態等をお伺いする安心・ふれあいの電話内容です。

●サービス提供時間

- 毎週月～金曜日（土曜、日曜、祝日を除く）
- 午前9時～午後5時

●ご利用料金 無 料

●その他

お話の内容等、秘密は厳守いたします。

◆あんしんコールをご希望の方は…

岩美町社会福祉協議会 総務福祉課 電話 72-2500までお気軽にお問い合わせください。

7月	6月	5月	
			住 所
			寄付者氏名
			故人名
			続柄

社協へご寄付

令和3年5月～令和3年7月（敬称略）

社会福祉事業に役立ててくださいと篤志のご寄付をいただきました。

【介護用品一式】

◎ 匿 名

【衣 類】

◎ 匿 名

ご寄付をいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

